



霧が丘

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kirigaoka/>
E-mail: y3kiriga@edu.city.yokohama.jp

横浜市立小中一貫校
霧が丘小中学校（小学校）
平成 27 年度通算第 219 号
平成 27 年 11 月 30 日発行
児童数 662 学級数 22

人とのつながりに学ぶ

副校長 小田 和宏

早いもので、今年も 12 月を迎えようとしています。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さまざまな人とのつながり・かかわり合いが、他人の考えや多様な価値観を認め尊重する心情を育てていくことにつながります。12 月には人権週間もあり、各学年で成長段階に応じた人権に対する取組が行われます。（すでに取り組んだ学年もあります。）また、本市では「横浜市いじめ防止基本方針」に基づき、社会全体でいじめ根絶を目指した取組を進めており、12 月を「いじめ防止啓発月間」と位置づけています。

日々の学校生活の中で、友達が傷つく言葉を使ってしまうたり、相手の気持ちを考えずに行動してしまったりする姿が全くないわけではありません。しかし、「人とのつながり」がなければ、「かかわり合い」をもたなければ、お互いの立場を考え、思いやりの気持ちをもつ機会もなくなってしまいます。その上で、大切になってくるのは、相手の立場になって考えようとする気持ちや相手の思いをイメージする想像力を育てていくことなのだろうと思います。

過日 11 月 19 日に 6 年生が「英検 Jr.」（※）に挑戦しました。

本校では、外国語活動の講師ソラム・クリストファー・スコット先生が毎日勤務しています。（横浜市立の小学校では多くが週 2 日程度です。）外国語活動の学習はもちろんのこと、その他の教科でも、時には校外学習に同行して、体験的に英語の音声や基本的な表現に慣れ親しめるよう積極的に児童にかかわっています。外国の方とのコミュニケーションでは、より一層相手の気持ちや文化に思いを巡らせる必要があるかと思えます。

21 世紀を生きる子どもたちにとって、言語や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢は、今後さらに必要になってくると思います。横浜市でもグローバルな視点で、「世界の人々と理解し合い協働できる姿」を目指した教育を進めていこうとしています。

※「英検 Jr.」は、児童の英語能力の調査・研究を目的に、英語に親しみ、外国の文化を理解することを目標として 1994 年に開発した児童向けの「育成型ゲーム感覚」のリスニングテストです。（公益財団法人日本英語検定協会 HP より）

さらに、今、「生活科」や「総合的な学習の時間」で、学年で取り組んだり各クラスのテーマを設定したりして、調べる学習や実際に取材をしたり体験したりする学習を進めています。そうした学習の過程で地域の方々にたくさんのご協力をいただいております。ここでも、子どもたちがさまざまな方とかかわり合い、つながりを広める機会を作っていただいております。心より感謝申し上げます。

それらの取組を 12 月 19 日（土）のきりっ子フェスティバルで発表する準備も進めています。ぜひご来校いただき、子どもたちの取組に触れていただければと思います。

このところ冬の寒さをひときわ感じるようになりました。インフルエンザやノロウイルスの報告も出始めています。ご家庭でも、手洗い・うがい等の予防対策のお声かけをよろしく願いいたします。